「改革の骨子」と「改革項目」を決定
進む行政改革の審議
第２回田原市行政改革推進委員会を開催

２月20日（金）、田原市役所において、第２回田原市行政改革推進委員会（河合秀敏会長）が開催されました。

委員会では、市の担当者から少子高齢・人口減少社会の到来や不確実性を増す財政環境など、行政改革の背景についての説明を受けた後、大綱の骨子や47項目におよぶ今後検討すべき改革項目、５月中旬開催予定のシンポジウムについて審議し、いずれも現時点の案として決定されました。

なお、今年度からは月１回のペースで会議を開き、各改革項目の具体的な対策や行動計画となる『アクションプラン』について審議を重ね、９月の「答申」を目指します。

なお、会議録は田原市ホームページでご覧いただけます。

▶総務課☎２３局３５０６

●委員会であいさつする白井孝市田原市長

平成１６年度予算
赤羽根地域の主要事業を説明
第４回田原市赤羽根地域審議会

２月17日（火）、田原市役所赤羽根支所において、第４回田原市赤羽根地域審議会（大羽義市会長）を開催しました。今回は、合併後初めて編成した平成16年度田原市予算案の概要と、赤羽根地域で実施した地震防災対策基礎調査について市の担当者から説明し、委員と意見を交わしました。

予算に関しては、３校区市民館整備や小・中学校校舎の耐震補強などを含む赤羽根地域における普通建設事業費が約17億５千万円となり、これは旧赤羽根町の平成15年度当初予算における普通建設事業費に比べ78.７％の増加であることを説明したほか、ぐるりんバスの高松地区延伸、ＣＡＴＶ赤羽根エリア開局など、16年度の主な事業について解説を加えました。また、地震防災対策の基礎調査については、津波の予想規模、家屋や人的被害予測を報告し、今後作成する防災計画や防災マップに、これらの調査結果を反映させる予定であることを説明しました。

▶市民生活課（赤羽根支所）☎４５局３１１１

■平成１６年度　赤羽根地域の主な新規事業

◎高松・赤羽根・若戸市民館整備（用地・設計）

◎小・中学校校舎耐震補強工事

◎ぐるりんバス高松地区延伸

◎ＣＡＴＶ赤羽根エリア整備・加入促進補助

◎道路照明灯設置

◎津波対策用回転灯付屋外子局設置

◎消防団詰所・防火水槽整備

◎高齢者タクシー・バス料金助成

●ＣＡＴＶ（ケーブルテレビ）赤羽根エリアは16年度後半に開局予定